

実行力と建設的提案で 県政をうごかす



松下 ゆたか

くらしまもり、
仕事つくる議席を
北区から!

日本共産党

元県議会議員(県議予定候補)
党さいたま地区委員会副委員長

プロフィール

- 名古屋市出身、疎開先の三重県四日市の空襲で「九死に一生」
- 埼玉県立川越工業高校卒、近畿工業(株)、クラウン(株)勤務
- 1980年6月に党専従
- 1995年県議会議員初当選(2期)
- 現在、党さいたま地区委員会副委員長

ブログ

松下ゆたか元県議

検索

ごあいさつ

埼玉県の財政力は全国6位です。ところが開発優先の上田県政のもとで老人ホームもお医者さん・看護師さんも、生徒一人あたりの教育費も全国最下位です。

なんとしても県議会に復帰し、県民と力をあわせて「住宅リフォーム助成制度の実現」「小児救急医療の充実」「30人学級の実現」など暮らし・雇用・仕事起こし・子育て安心のゆたかな埼玉を実現させます。カブよいご支援をお願いします。

日本共産党さいたま地区委員会の見解を紹介します

2011年1・2月号外

発行/日本共産党さいたま地区委員会 大宮市天沼町2-657-1 TEL 641-1561 FAX 641-1734

新さいたま

国政へも

県民の声を しっかり届けます



日本共産党

政治の責任で賃上げを主導

- 労働者派遣法を抜本改正して非正規社員を正社員にする
- 中小企業に手当をしながら最低賃金を時給1000円以上に引き上げる
- 雇用の7割を抱える中小企業を本格的に支援して大企業の労働者との賃金格差をなくしていく
- 日本航空のような無法解雇をやめさせて解雇規制のルールを強化する

大企業は空前の「カネあまり」(内部留保は244兆円)。賃上げは十分可能です。

農業も地域も 雇用も破壊する TPP参加には反対

TPP(環太平洋連携協定)は、関税を撤廃し、農産物の輸入完全自由化をすすめるものです。日本農業と地域経済に深刻な打撃となり、農水省の試算でも食糧自給率は現在の40%が14%にまで低下してしまいます。食料主権を守ることはその国の当然の権利です。

草の根の運動と結んで実現

日本共産党

日本共産党は全県の地方議員が力をあわせて、地方政治を大きく動かしてきました。



- 30の自治体で国保証のとりあげを中止させる
- 後期高齢者医療制度の保険料の引き下げを実現
- 障害児の特別支援学校を県が増設
- 周産期母子医療体制を県が整備・充実
- 医師確保へ医学生奨学金制度を県が創設

領土問題

マスコミも 「一番は共産党」

日本共産党は、中国、ロシアに、尖閣諸島、千島列島は日本の正当な領土として、国際的、歴史的な根拠があると主張。マスコミも「尖閣」アピール「一番は共産党」(読売新聞)と注目しています。